

Dwight D. Opperman のこと

成城大学法学部教授 成田 博

米国の代表的法律専門出版社である West の所在地はミネソタ州イーガン市 Opperman Drive 610 番地であるが、Opperman Drive なる名称は、Dwight D. Opperman の名にちなむのであろうと思う。もっとも、そういうふうについてみても、わが国において、Opperman の名を知る人は必ずしも多くはないかも知れない。

Dwight D. Opperman は、1924 年、アイオワ州ペリー（Perry）で生まれた。家は必ずしも豊かでなく、少年の頃には、列車が通ったあと、線路に落ちている石炭を拾い集めて家に持ち帰り、これを暖房に使ったというようなこともあったらしい。第 2 次世界大戦において兵役に服し、終戦後、G.I. Bill [復員兵援護法] によって Drake University で学ぶチャンスを得た。1951 年に Law の学位を得て West Publishing Company に入る。そして、1968 年 10 月 18 日、スレイター（Lee H. Slater）のあとを受けて、第 8 代社長に就任した。今から振り返ってみれば、Opperman が社長の座についたのは、West が最も輝いていた時代だったように思われる。実に単純な話をすれば、LEXIS が誕生したのは、1972 年のことであった。それから 1993 年まで、20 年以上にわたって、Opperman は West Publishing Company の社長の職にとどまった。

そのあと、社長に就任したのは息子の Vance であった。Vance K. Opperman は、地元ミネソタ大学の Law School を出て弁護士となった。1985 年、LEXIS を運営する Mead Data Central, Inc. との間で起きた Star Pagination をめぐる訴訟において West 側の弁護士として活躍した実績があったことを考えれば、自分の息子を後継者にしたという批判はいくらか和らぐかもしれないが、それでも、長く縁故採用しないことを社是としていた West においては、やはり異例のことであったように思われる。

Vance K. Opperman が社長に就任して間もなくの 1996 年、West Publishing Company は、破格の高額で Thomson によって買収され、一夜にして、株主であった少数の役員だけが「億万長者」となって、Dwight D. Opperman は 長者番付 Forbes 400 に名前が挙がることになった。

しかし、彼の経歴はそれで終わりではなかった。West を辞めたあと、Key Investments Inc. なる会社を設立したが、それとは別に、1980 年代から Supreme Court Historical Society の理事をつとめていて、1997 年には、その議長に選ばれた。このほか、母校 Drake University に Opperman Scholarship を創設するなど、多額の寄付によって社会貢献を行っていた。

その Opperman が、2013 年 6 月 13 日、89 歳の生涯を終えた。Supreme Court Historical Society Quarterly の 35 巻 2 号が追悼記事を載せている。